

令和7年度（2025年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	第3学年	類型	I型
単位数	2単位	教科書	新数学Ⅱ（東京書籍）				
補助教材	ニューファースト新数学Ⅱ（東京書籍），実用数学セミナー（浜島書店）						

学習目標	指数関数・対数関数および微分・積分の考えについて理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を培うとともに、それらを活用する態度を養います。また、就職問題集の問題を解くことによって、これまでに学習した数学の知識を総合的に活用する能力を高めます。
------	---

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期考査	
1学期	4月	第4章 指数関数と対数関数	指数関数及び対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにします。	中間考査	
	5月	第1節 指数関数			
	6月	第2節 対数関数			
	7月	第5章 微分と積分			
2学期	8月	第1節 微分係数と導関数	微分・積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにします。	期末考査	
	9月	第2節 導関数の応用			
	10月	第3節 積分		問題演習等	中間考査
	11月	総合演習			
	12月				期末考査
3学期	1月			学年末考査	
	2月				
	3月				

学習の方法	日々の授業において自分の学習目標を設定して努力することが大切です。単に公式を覚えて解くものではありません。なぜこのような解法になるのか、自分の力で説明できるかなど、数学的な考え方を身に付けることが大切です。日常生活の中で起こる数学的な考え方に興味を持ち、その法則性について考えながら学習に取り組んでみましょう。
-------	---

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
		基本的な概念、原理・法則、用語・記号などの知識とともに、事象を数学的に表現・処理し、推論する技能を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考査の得点と平常点から総合的に評価を行います。平常点は、提出物（課題、ノート等）・小テスト・授業に取り組む姿勢を考慮して評価します。		